

徳島市八万町法花谷（阿波銀行法花支店前）の**有限会社ティーオフィスの立石剛さん**にお話をお伺いしました。立石さんは城南高校の先輩でもあり、野球部のOB会を立ち上げられた人で、不動産業以外でも多方面で活躍されています。

『不動産業として独立されてもう長いですね』

30才の時に独立しましたが、実はそれまでに不動産業に携わったことがありませんでした。なのでかなり苦労しましたが、周囲の業者の皆様が本当によく助けてくれまして何とか18年目を迎えています。

大学を出てそのまま京都で就職していましたが、サラリーマンを辞めたのはたぶん企業というシステムに組み込まれているのが窮屈だと感じてしまったからだと思うんです。



でも自由にやるということがどれだけ難しいことかは独立して初めて気付くわけですけどね。

『不動産業に思えない社名ですが』

当時は「何の会社？」とよく聞かれました。単純に「立石の事務所」という意味です。徳島市南部にあるので伯父からは「南部不動産とかに変えたら？（笑）」とか言われましたが、もともと不動産業だけで終わりたくないと思っていましたから。近頃は様々な名前の会社が多いですけどね。

『立石さんにとって不動産業とはどういうものですか？』

数年前までなら「土地や建物を売るのが仕事」と答えていたと思います。でも今は「お客様の幸せ作りの第一段階を担うのが仕事」と考えます。

『それはどう違ってくるのでしょうか？』

まず目的ですね。不動産探しというのはお客様との共同作業です。ですから、お客様と目的が一緒でなければならないと思ったんです。

お客様の目的は「マイホームを建ててご家族と幸せになること」だし、「店舗や事務所を出して従業員とともに消費者の幸せ作りに貢献していくこと」だと思います。ですからその第一段階の「場所決め」を担っているわけですね。その地で幸せに暮らして頂くこと、営業し発展されること。それが大切です。その第一歩で躓いて頂くわけにはいかない。私の仕事のほとんどはそれに向けた問題解決です。

希望の場所を探し、そこにある問題を解決し、建築業者様やお客様にお渡しする。そして数年後、数十年後になるかも知れませんが、お客様が幸せに過ごされたとき初めて私の仕事は完遂するんでしょうね。

『事務所にはお客様のお写真が飾られています』

いつも取引の時にカメラを持っていこうと思って忘れちゃうんですよ。ですから全てのお客様ではないのですが。取引って所有権移転するときですからまさにお客様の幸せへの第一段階が終わったときなんですよ。そのときのお顔を覚えておきたいって思うんですよ。

このお顔の数が弊社の誇りみたいなものですかね。カッコ良く言えば。

『上手な不動産の探し方をアドバイスして頂きたいのですが』

どうすれば上手に探せるかは色々だと思いますが、自分自身が不動産業を「お客様に生涯関わる仕事」と思っている限り、信頼できる業者を一人見つけることが大切だと思いますね。

「この人なら全て任せられる」とか「私の人生の不動産窓口はこの人よ」と思えるくらいの。それがある方とない方では購入後も違ってくると思いますよ。



事務所の壁にはお客様の写真と城南OBチームの写真が飾られている

「お抱え弁護士」とか「お抱え医者」とか言う言葉を聞くことがありますが「お抱え不動産業者」みたいな（笑）。

『仕事以外でも様々な活動をされていますね』

40才を過ぎて若い世代に自分たちの世代が何を残せるかということを考えたときに何とも思い浮かばなかったんです。ですからできることをやろうと。

まず、大学生に社会勉強という意味で起業家の方と会う機会を作ったり、社会体験をして頂くことをやっています。先日は有名な中村文昭さんの講演会を企画したりしました。講演会を成功させるまでの過程が大きな学びの場となります。これらはテーマとして「人間力の育成」を掲げ、社会を生き抜くチカラを養って頂くことに主眼を置いています。これはライフワークとしてやっていきたいですね。

また、徳島県高校野球OB連盟の会長として、自分たちが硬式野球を楽しむだけでなく、野球を中心とした生涯スポーツの発展にも取り組みます。サッカーのように地域を上手に巻き込んだ取り組みが野球にはあまりできていないように思うのです。個人的には中学生から一般までの女子野球の普及に今は取り組みたいと思っています。

『昨年は母校が甲子園に出ましたね』

2008年、つまり城南高校野球部創立110年にして初めて正式な形でOB会を発足させました。それまでOB会はなかったんです。同窓会名簿を見ても誰がOBかわからないわけですから、本当に作れるんだろうかと思いながらね。でも後輩たちが前向きに手伝ってくれて。ですから甲子園が決まったときは本当に嬉しかったです。

事務局長として去年の今頃は嬉しい悲鳴でしたよ。そのときは子供たちが本当に嬉しそうで「OB会を作ってよかったな」と心から思いました。

『これからの立石さんの活動を教えてください』

不動産業でできるだけ多くの皆様の幸せ作りに貢献したいですし、野球を通じて子供たちの笑顔も増やしていきたいです。私一人にできることは限られているかも知れませんが、多くの人に協力して頂くことによってやることは無限にあると信じています。

これまで関わって頂いた皆様はもちろん、これからお付き合いさせて頂く皆様にもぜひご指導賜りますようお願い申し上げます。

不動産業を本業とする傍ら、野球にも情熱を持って取り組んでいる立石さん。また大学生たちにも社会勉強の機会を提供するなど世代の責任感というものも大切にされています。「売上はお客様の幸せの対価でなければならない」と言われていたのが印象的でした。



立石さん自身も48才ながらマスターズ甲子園で活躍する選手です

ぜひ八万町にお越しの際は有限会社ティーオフィスの立石さんに会いに行かれればいろんな話をしてくれると思います。

(聞き手：不動産情報ネット 村上善英)

有限会社ティーオフィス

代表取締役 立石真人

徳島市八万町法花谷282-1

TEL088-669-4544

<http://www.2103infonet.com/toffice/>